

関西防災・減災プラン地震・津波災害対策編のフォローアップ

H24.12 関西広域連合広域防災局

1 目的

大規模広域災害への備えをより一層充実したものとするため、関西防災・減災プラン地震・津波災害対策編に示した取組項目の実施状況を毎年度点検・評価し、その結果を構成団体間で共有することにより、プランの着実な推進を図る。

2 フォローアップの進め方

(1) ロードマップの作成

- プランの「災害への備え」の項目ごとに、広域連合と構成団体の取組を区分し、各年度の具体的な取組内容を示すロードマップ（取組工程表）を作成する。

(2) 実施状況の点検・評価

- 毎年度、広域連合及び構成団体による取組の実施状況を取りまとめて点検・評価するとともに、その概要を広域連合議会に報告する。

「関西広域連合行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」第4条「広域連合長は、毎年度、基本的な計画に係る実施状況を議会に報告しなければならない。」

(3) 期間等

- 平成24～26年度の3か年度（平成27年度以降の取組予定も参考として記載）
- プランの改定や社会経済状況の変化等に的確に対応するため、ロードマップの内容は、毎年度の点検・評価に合わせて柔軟に見直す。

(4) 備考

- 今後本格策定する「原子力災害対策編」など他の分野別対策編についても、同様にフォローアップを行う。

3 ロードマップのイメージ（作成例）

プラン(H24.3策定)に示された取組	年度別計画				評価指標・備考
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度以降	
1 関係機関・団体等との平常時からの連携 広域連合は、大規模広域災害に対して、関係機関・団体等が連携して対処するための体制を整備する。					
1 (1) 構成府県との連携 府県地域防災計画との整合性の確保 (連・団)プランの実効性を確保するため府県地域防災計画との整合性を確保	プランを踏まえた地域防災計画の修正を働きかけ	継続			[H24評価指標] (団)プランを踏まえた地域防災計画の修正
2 緊急連絡体制等、複数の情報通信手段による連絡体制の構築 (連・団)複数の情報通信手段による連絡体制を構築	連絡体制を構築 連絡体制の構築に参画	連絡先の拡充・更新、訓練や災害対応を通じて検証・改善 連絡先の拡充・更新、訓練や災害対応を通じて検証・改善に参画	継続		[H24評価指標] (連)関西広域応援・受援実施要綱に複数の情報通信手段の連絡先を記載

- プラン本文を要約
- 広域連合の取組は（連）、構成団体の取組は（団）と表示

四角囲み：重点的に取り組む段階

...広域連合の取組

...構成団体の取組

実施状況を点検・評価する際の指標（メルクマール）を記載